

2012年度 日本文化人類学会
第5回 理事会 議事録

日時：2012年12月15日（土） 14:00～16:30

会場：東京外国語大学本郷サテライト 7階会議室

出席者：小泉、赤堀、綾部、池田、上杉、春日、亀井、窪田、曾我、高倉、棚橋、中谷、松田、三尾、和崎

委任状提出：小田、岸上、栗本、佐々木、清水、出口、森山、山本

〔承認事項〕

1. 2012年度第4回理事会議事録
2. 新入会員（17名）につき、総務会で入会を承認したことを報告の上で事後承認。
3. 任期満了に伴う平成25年度洪澤賞選考委員会の委員長・委員の推薦について
・ 洪澤賞選考委員会について、委員長及び新たな委員2名について総務会案が示され、事後承認された。

〔報告事項〕

1. 庶務理事報告
 - ・ 山下晋司会員の平成24年度紫綬褒章受章に対し、学会から会長名で祝電を打ったことを報告。
 - ・ 前回理事会で松田・窪田両理事に検討を一任していたWCAA無料オンラインジャーナル *Deja Lu* への対応について、両理事による検討の結果、第7回日本文化人類学会奨励賞受賞論文の査読済み最終稿の掲載が決定され、総務会による審議の結果承認されたことを報告。なお、本件については既に窪田理事から論文著者の野澤豊一会員に連絡し、本人の承諾を得た上で *Deja Lu*、側へ原稿データを送信済みであることを報告。
 - ・ 第2回日本オリエント学会三笠宮オリエント学術賞受賞候補者について学会へ候補者推薦依頼があり、JASCA-INFO及び学会HPで自薦・他薦情報の周知を行ったことを報告。学会による他薦の応募は11月22日締切としたが応募0件であったことを報告。
 - ・ 学会費未納4年目の会員に対して2012年12月31日までに年会費納入ないし正式な退会手続きを行わない場合には退会処理を行う旨を本年度会費請求時に通知済みであることを説明の上、それに則り退会処理を行うことを確認。なお、2012年12月17日と12月27日に学会費未納4年目の会員にメールで退会意思の確認及び会費納入依頼を行うこととした。
 - ・ 日本学術会議若手アカデミー委員会より「若手の会代表等若手研究者代表へのご連絡のお願い（国内若手研究者ネットワークへのご参加とアンケートご協力のごお願い）」と題されたメールが届き、本件への対応については木村周平評議員に付託したことを報告。
 - ・ 『民族学研究』及び『文化人類学』に掲載された論文の転載申請が1件あり、庶務理事が判断のうえ転載許諾を行ったことを報告。
2. 会計理事報告
 - ・ 『文化人類学』の丸善納品部数について現行の420部から減らしてほしいとの依頼があり、検討の上、77巻3号より380部へ納品部数を変更することを報告。
3. 広報理事報告
 - ・ 前回理事会以降、会員連絡用メーリングリストの運用内規に基づき13件のJASCA-INFO配信を行ったことを報告。
 - ・ 学会HPについてノンフレーム版のデザインを開始していることを報告。
 - ・ WCAAに登録されている学会HPのリンクが切れていたことを報告。他団体のリンク切れに気がついた際には各団体のHP担当者へ更新依頼を行うよう各理事へ依頼。
 - ・ 研究会情報については学会HPの情報フォームから送信してもらえるよう各理事へ依頼。
4. 各種委員会報告
 - ・ 『文化人類学』編集委員会：77巻3号の刊行が遅れており2月上旬頃刊行予定であることを報告。原因は投稿数の不足であり、対策としてJASCA-INFOで投稿呼びかけを行うことを承認。文案は編集委員会が作成することとした。
 - ・ JRCA編集委員会：Vol.13の刊行に向けて進捗状況を報告。次年度のVol.14の刊行に備え、各理事に対し引き続き投稿の呼びかけへの協力を要請。WCAA無料オンラインジャーナル *Deja Lu* への次年度以

降の対応の体制について理事会で検討を進めることを要請。

- ・国際連携委員会：小泉会長より、WCAA 会議へ出席したことについて報告。前回及び今回の WCAA 会議議事録を理事会 ML へ配信予定。
 - ・民博連携委員会：学会が後援する民博主催シンポジウム 1 件について、開催日程が迫っているために JASCA-INFO での情報配信を辞退するとの申し出が民博側からなされたが、会員の利益に関わることであるため情報配信を行ったことを報告。学会後援シンポジウムについては自動配信となることを確認の上、今後は後援依頼時に情報配信時期も届け出てもらうこととした。
 - ・学会歴史委員会：インタビュー映像記録公開に向けて、出演者へ公開依頼書を送付したことを報告。
 - ・研究大会運営検討委員会・研究発表査読委員会：第 47 回研究大会の発表要旨の査読について進捗状況を報告。英語要旨の提出があったことから今後規程の整備が必要であることを確認。課題研究懇談会については第 47 回大会では特に成果発表のための枠を設けず、第 48 回大会以降に向けて検討を行うこととした。
 - ・倫理委員会：亀井委員に代わり富沢寿勇氏（静岡県立大）を委員に委嘱したことを報告、承認された。
 - ・学会賞選考委員会：学会奨励賞については選考経緯・理由書・推薦書を総務会に提出したこと、学会賞については 1 月下旬開催予定の委員会で決定することを報告。
 - ・次世代育成セミナー実施運営委員会：欠席の森山理事に代わり、棚橋理事より 2012 年度次世代育成セミナーの実施（2012 年 11 月 24 日於神戸大）と、学会誌の「資料と通信」に報告記事を投稿予定であることを報告。2012 年度のセミナーが終了したため担当委員名を公開することを確認。
5. その他
- ・高倉理事より、学会主催公開シンポジウム（11 月 10 日於仙台）が開催され、121 名の参加があり盛況であったことが報告された。

〔審議事項〕

1. 研究大会発表要旨査読規程の文言修正について
 - ・綾部理事より、研究大会発表要旨査読規程の文言修正について提案があり、修正案が承認された。
2. 事務局員の雇用に関する申し合わせについて
 - ・総務会より、事務局職員の雇用契約更新について提案があり、契約更新を行うことが承認された。
3. 学会 50 周年記念事業について
 - ・小泉委員長より、11 月中旬～12 月上旬にかけて開催された 111th Meeting of American Anthropological Association と IUAES Inter-Congress 2012、WCAA 会議に出席し、様々な場において、日本文化人類学会が 2014 年に 50 周年を迎え記念事業を計画していることを周知し、パネルの組織等、協力の要請を行ったこと、日程、会場、テーマ、予算等についても進捗状況が報告された。
 - ・国立民族学博物館・国立新美術館との連携による記念展示について、春日理事と窪田理事が委員となって関連の記念シンポジウム等を担当すること、2 月 13 日に国立新美術館で国立新美術館、国立民族学博物館、本学会の 3 者による会合に出席し、展示等に関し検討を行ったことが報告された。展示時期は 2014 年 2 月～5 月頃を予定。
 - ・日本文化人類学会 50 周年記念国際研究大会（仮称）について提案があり審議を行った。提案の内容と審議の結果は以下の通り。
 - ① IUAES 中間会議と学会 50 周年記念国際大会（仮）および第 48 回研究大会の合同開催とすることを承認。これを受け IUAES へ正式なレターの発送、パネルの検討依頼を行うことを承認。
 - ② 開催日程を 2014 年 5 月 15 日（木）～5 月 18 日（日）で確定し、準備を進めることを承認。
 - ③ 開催地に関し交渉を進めることを承認。
 - ④ テーマを” The Future with/of Anthropologies”（仮邦題案「人類学の明日、人類学との明日」）とすることを承認。
 - ⑤ シンポジウムやワークショップ等について、①～④の案に基づき、国内外の組織に対し協力・参加の検討依頼を行うことを承認。
 - ⑥ 学会 50 周年記念事業を担当する学会臨時事務局員の採用を行うことを承認。採用に関する手続きについては総務会と学会 50 周年記念事業検討委員会に検討を一任し、必要に応じて理事会 ML での稟議を行うこととした。
4. その他
 - ・次回理事会は 2013 年 2 月 17 日（日）14 時～開催予定。